

【 第26回男子世界選手権 】

2019年1月10日～1月27日 開催地:ドイツ、デンマーク

試合結果報告 1 月 17 日 (木)

JPN	VS	BRN
9	前半	10
13	後半	13
22	合計	23

個人得点

No.	名前	得点	合計
10	杉岡 尚樹	0	0
13	笠原 謙哉	0	0
15	部井久 アダム 勇樹	0	0
16	甲斐 昭人		0
18	成田 幸平	1	1
19	徳田 新之介	0	0
20	渡部 仁	5	5
21	土井レミイ 杏利	2	2
24	信太 弘樹	1	1
25	元木 博紀	9	9
26	久保 侑生		0
27	玉川 裕康	0	0
29	岡元 竜生	0	0
31	吉野 樹	2	2
33	東江 雄斗	2	2
44	門山 哲也	0	0
			22

戦評

本大会予選リーグ5試合目は、同じアジア代表であるバーレーンとの一戦。この1年間で5回対戦し、いずれも敗戦しているがここで一矢を報いて5位でプレジデントカップに進みたい一戦であった。

スタートから東江をトップに据えて、組織的なディフェンスから速攻で押し切る攻撃的な策がバーレーンを苦しめ、バーレーンのエース99番ALSAYYADに得点を許さず日本ペースで試合が進んだ。しかし日本も得点の流れが悪く優位に立てない。その中、渡部や吉野の得点で21分に逆転に成功。しかし終盤、タイムアウトを取ったバーレーンに27番BASHAMらの得点で再逆転されてしまう。その後もGK久保が7mTを止めるなど、相手の流れを潰すが、日本もミスを重ねてしまい、9対10の1点ビハインドで前半を終了する。

ハーフタイムに、もっとシンプルに強気で攻撃することを確認した日本は、渡部の2連取に始まり元木の速攻などで加点する。バーレーンの7人攻撃も死守し、後半14分過ぎには19対14と5点のリードを奪った。しかしここから試合巧者のバーレーンは、99番ALSAYYADを中心に個人技を駆使し、ジリジリと日本を追い上げる。日本も強い縦への攻撃を徹底し、7mTを獲得するが、このチャンスを活かすことができず、残り40秒で同点に追いつかれてしまう。ここで渡部が強気の1対1でディフェンスを抜き去るも、ゴールポストに弾かれてしまった。このまま同点でも5位が決定する日本だったが、バーレーン7番MERZAのステップシュートが残り3秒で決まり、22対23の1点差で逆転負けを喫した。

試合の流れを制し、苦手とするバーレーンを上回るプレーを見せたが、最後まで諦めずに個人が持ち味を発揮したバーレーンの気持ちに押し込まれる残念な結果となってしまった。これで予選リーグ6位となり、プレジデントカップに臨むが、これまでヨーロッパ勢相手に見せた成果と、この試合で学んだ代表としての強い気持ちをさらに強めて、まずは次の韓国戦で勝利を掴みたい。

報告記入者 : 舎利弗 学